

NPOなどのステークホルダー様と連携し、さまざまな協賛活動を行っています。

● 川崎フロンターレSDGsフードドライブ協賛

川崎フロンターレは、ホームゲームにおいて毎試合フードドライブを実施しています。フードドライブとは、各家庭で使い切れない未使用食品を持ち寄っていただき、それらをまとめてフードバンク団体や地域の福祉施設・団体などに寄贈する活動です。川崎フロンターレSDGsフードドライブで集まった食品は、フードバンクかわさき（川崎市多摩区）を通じて、地域の福祉施設や食を必要としている方に配布されています。当社はこのような取り組みに共感し、2023シーズンより川崎フロンターレSDGsフードドライブに協賛しています。

＜ 川崎フロンターレSDGsフードドライブ



川崎フロンターレSDGsフードドライブのブース

● 日本アンプティサッカー選手権大会の協賛

アンプティサッカー（amputee soccer = 切断者サッカー）とは、主に上肢または下肢の切断障がいを持った選手がプレーするサッカーのことです。多くの障がい者スポーツでは専用器具を用いますが、アンプティサッカーでは日常生活やリハビリ医療目的で使用するロフトストランドクラッチで競技を行うため、足に障がいを持つ人々が気楽に取り組むことができ、かつ楽しめる世界的なスポーツです。

国内最高峰の大会である日本アンプティサッカー選手権大会は2011年から開催され、当社は2019年の第9回大会から協賛しています。

> [詳細はこちら（広告宣伝）](#)



アンプティサッカーのプレー

10 人や国の不平等
をなくそう



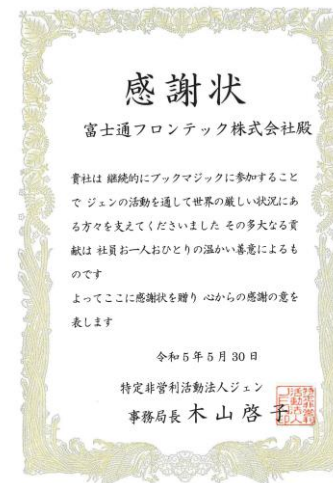
● BOOK MAGIC (古本などの回収)

社内で従業員が読み終えた書籍、不要になったCDなどを回収し、特定非営利活動法人「ジェン（JEN）」様へ寄付しています。寄付品は換金され、その資金が貧困国の学校建設などのプロジェクトに充てられています。

2014年度から活動を開始し、これまで約355,000円を寄付することができました。

（2025年3月末時点）

なお、2022年度からは、テレワーク勤務の従業員も気軽に参加できるよう、自宅から直接寄付できる仕組みを構築し、運用を開始しています。



感謝状

● キャップ回収活動によるワクチンの提供

社内でペットボトルキャップを回収し、認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」様へ寄付を実施しています。

寄付したキャップはリサイクル資源として売却され、世界の子どもたちにワクチンを贈るための資金になります。

2015年11月から活動を開始し、富士通フロンテック（株）および（株）富士通フロンテックシステムズ（FJFS）では、これまで約1,052,000個（ワクチン2,091人分相当）のキャップを回収・寄付しました。（2025年3月末時点）



社内のキャップ回収BOX

● 使用済切手などの寄付

2005年から、使用済切手や未使用ハガキなどを収集し、年1回、公益財団法人「緑の地球防衛基金」様へ寄付しています。寄付品は換金され、アジアやアフリカでの植林活動などの支援に充てられています。



回収した使用済切手など



● プルタブ寄付による車椅子の贈呈

富士通フロンテック労働組合の本社支部では、富士電機労働組合様の活動に協賛する形で、ドリンク容器のプルタブを回収し、非営利団体「リングプル再生ネットワーク」様へ寄付しています。寄付したプルタブはリサイクル資源として売却され、その資金で車椅子を購入し、地域の社会福祉協議会様などへ寄贈しています。



回収したプルタブ



● ドッジファイルの寄付

社内資料の電子化が進んだことにより不要となったドッジファイルを、認定NPO法人「グッドライフ」様へ寄付金とともに寄付しました。寄付したドッジファイルは国内外で必要としている方々に届けられ、リユースされます。また、寄付金は認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」様を通じて、ポリオ撲滅のための活動費に利用されます。



寄付前のドッジファイル

● 緑の募金活動

新潟工場では、公益社団法人「にいがた緑の百年物語緑化推進委員会」様が主催する「緑の募金」運動に賛同し、2007年度から毎年、工場内で募金活動を実施しています。

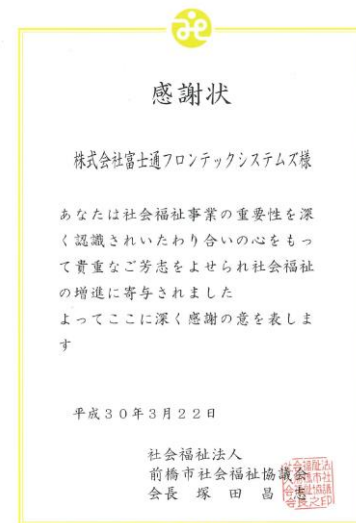


「緑の募金」のポスター

● パソコンなどの寄付

(株) 富士通フロンテックシステムズ (FJFS) では、入替により不要となったパソコンは廃却せず、地域社会で活用していただくことを目的に、群馬県前橋市内にある障がい者福祉サービス事業所様 他へ寄付しています。

なお、2018年3月に、当取り組みが評価され、前橋市社会福祉協議会様より感謝状をいただきました。また、2018年度にはドッチファイルを1,700冊寄付し、地域の21の福祉施設様からも感謝状をいただきました。



感謝状